

## 感染症発生動向調査情報(週報)

2014年39週(09月22日～09月28日)

### 山梨県内流行情報

全国では、RSウイルス感染症の報告数が9月第1週の0.46から今週は0.94と増加傾向にあります。県内の今週の定点あたり報告数は0.21で先週の0.29から若干減少しましたが、9月第1週の報告数0.08より多い報告数となっています。

RSウイルス感染症は接触感染・飛沫感染し、発熱、咳、鼻汁など上気道炎症状が特徴的な感染症で、例年、秋から冬にかけて流行しやすい傾向にあります。多くは軽症で済みますが、基礎疾患のある小児や乳児(特に生後数週間～数ヶ月間)が感染すると、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあるので注意が必要です。県内においても今後の流行状況に留意し、普段から感染症予防対策の基本である手洗い、うがい、咳エチケット(マスク着用)等を心掛け、感染予防に努めましょう。また、発熱等の症状がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

[今週の警報]なし

### 富士・東部管内流行情報

今後も引き続き、手洗いうがいを励行し感染予防に努めましょう。

### 定点報告の感染症

定点・・・定点あたり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	344	0.07	2942	0.94	852	0.27	3740	1.19	9154	2.92	1764	0.56
山梨県	-	-	5	0.21	2	0.08	5	0.21	43	1.79	5	0.21
中北	-	-	4	0.5	1	0.13	3	0.38	20	2.5	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	-	-	1	0.2	12	2.4	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	1	0.2	1	0.2	7	1.4	4	0.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2079	0.66	475	0.15	1732	0.55	36	0.01	1976	0.63	924	0.29
山梨県	2	0.08	1	0.04	6	0.25	-	-	6	0.25	1	0.04
中北	-	-	-	-	1	0.13	-	-	3	0.38	-	-
中北峡北	-	-	1	0.2	2	0.4	-	-	1	0.2	1	0.2
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.4	-	-	2	0.4	-	-	2	0.4	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3	0	326	0.48	3	0.01	19	0.04	134	0.28	7	0.01
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

# 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	39週		38週		37週		36週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	やや減少しています	流行しています	0.21	5	0.29	7	0.42	10	0.08	2
咽頭結膜熱	減少しています	平年並みです	0.08	2	0.29	7	0.46	11	0.46	11
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.21	5	0.5	12	0.58	14	0.79	19
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	1.79	43	1.75	42	2.71	65	2.17	52
水痘	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.13	3	0.42	10	0.33	8
手足口病	減少しています	平年より少ない発生数です	0.08	2	0.46	11	0.67	16	0.63	15
伝染性紅斑	-	-	0.04	1	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.25	6	0.46	11	0.42	10
百日咳	-	-	-	-	-	-	0.04	1	0.04	1
ヘルパンギーナ	減少しています	平年並みです	0.25	6	0.92	22	1.04	25	1.83	44
流行性耳下腺炎	やや減少しています	平年並みです	0.04	1	0.17	4	0.04	1	0.08	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.22	2	0.56	5	1	9
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	0.1	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

## 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	梅毒	峡東	男	46
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	女	49
二類感染症	結核	富士・東部	男	75
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	富士・東部	女	20
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	富士・東部	女	19
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	富士・東部	女	19